**第35回 日本母乳哺育学会学術集会 一般演題登録フォーム（研究）**

**1.筆頭演者情報**

|  |  |
| --- | --- |
| 項目 | 記入欄 |
| 演題（Title） | 「母乳バンクから提供されるドナーミルクの母乳成分分析に関する検討」 |
| ふりがな | みずの　かつみ |
| 氏　　名（Name） | 水野　克己 |
| 所属（Institution） | 昭和大学医学部小児科学講座 |
| 連絡先住所（Address) | 〒142-8666  東京都品川区旗の台1-5-8 |
| 電話番号（TEL） | 03-3784-8709 |
| FAX番号（FAX） | 03-3784-7410 |
| メール（MAIL） | [katsuorobi@med.showa-u.ac.jp](mailto:katsuorobi@med.showa-u.ac.jp) |

**2.演者登録情報**

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 項目 | 会員番号 | 氏名 |
| 筆頭演者1\* | 00330 | 水野　克己 |
| 共同演者1\* | 会員手続き中 | 伊達　緑 |
| 共同演者2\* | 会員手続き中 | 田中　未央里 |
| 共同演者3\* | 会員手続き中 | 田中　麻里 |
| 共同演者4\* | 31047 | 水野　紀子 |
| 共同演者5\* |  |  |
| 共同演者6\* |  |  |
| 共同演者7\* |  |  |
| 共同演者8\* |  |  |
| 共同演者9\* |  |  |
| 共同演者10 |  |  |

**3.演題抄録**

「母乳バンクから提供されるドナーミルクの母乳成分分析に関する検討」

　　　　〇水野克己1)２）、伊達緑1)、田中未央里1)、田中麻里1)、水野紀子２）

一般財団法人日本財団母乳バンク1)

一般社団法人日本母乳バンク協会２）

Ⅰ．緒言

一般的に、ドナーミルクのたんぱく質量は早産児母乳に比べて少なく、個々でばらつきがあると言われる。このため、長期間ドナーミルクを利用する際に、諸外国では複数のドナー母乳を混ぜて低温殺菌処理をしている。日本でも2～3名のドナーから得られた母乳を混ぜて低温殺菌処理したものを“複数ドナーミルク”として提供している。今回、実際に母乳バンクから提供している単数・複数ドナーミルクのたんぱく質量を比較検討したので報告する。

Ⅱ．方法

2019年9月以降に作成したドナーミルクを対象とした。母乳分析器（Miris社製）の取り扱い説明書に従って加温・ソニケーションを行い、低温殺菌処理後のドナーミルクを測定した。測定は3回行いその平均値を採用した。なお、単独ドナーミルクでは、2回以上母乳を提供いただいたドナーのみを対象とし、その平均値を代表値として用いた。なお、本研究は昭和大学病院の倫理審査での承認を得ている。

Ⅲ．結果

9月以降に登録した116名のドナーのうち、2回以上母乳を提供した方は25名であった。このうち11名は児がNICUに入院した早産女性であった。この単独ドナー25名の母乳中たんぱく質濃度は0.85-1.95 g/dL、複数ドナー132検体のたんぱく質濃度は0.9-1.5 g/dLであった。

Ⅳ．考察

今回検討した結果では単独ドナーミルクであっても23/25名はたんぱく質濃度が1g/dL以上であった。海外の母乳バンクにくらべて早産のドナーが多くを占めていることも比較的たんぱく質濃度が高いことと関係があると考えられた。

Ⅴ．結論

今回の検討からは、日本人ドナーでは単独ドナーであっても、極端にたんぱく質濃度が少ないドナー母乳はないことが分かった。長期間にわたってドナーミルクを使用する場合でも、母乳分析を適切に行うことで、単独・複数ドナーミルクにこだわらずに提供可能と考えられる。

**第35回 日本母乳哺育学会学術集会 一般演題登録フォーム（研究）**

本登録フォームの「**1.筆頭演者情報、2.演者登録情報**」に必要事項を記入し、「**3.演題抄録**」と合わせて、メールに添付し送信してください。

ファイル名は「（演題登録）所属（発表者名）」としてください。

**1.筆頭演者情報**

|  |  |
| --- | --- |
| 項目 | 記入欄 |
| 演題（Title） |  |
| ふりがな |  |
| 氏　　名（Name） |  |
| 所属（Institution） |  |
| 連絡先住所（Address) | 〒 |
| 電話番号（TEL） |  |
| FAX番号（FAX） |  |
| メール（MAIL） |  |

**2.演者登録情報**

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 項目 | 会員番号 | 氏名 |
| 筆頭演者1\* |  |  |
| 共同演者1\* |  |  |
| 共同演者2\* |  |  |
| 共同演者3\* |  |  |
| 共同演者4\* |  |  |
| 共同演者5\* |  |  |
| 共同演者6\* |  |  |
| 共同演者7\* |  |  |
| 共同演者8\* |  |  |
| 共同演者9\* |  |  |
| 共同演者10 |  |  |

・会員登録手続き中の方は、会員番号のところに「会員手続き中」と記載してください。

演題名**（全角80文字以内・中央揃え）**

　　　　〇発表者氏名1)、共同研究者氏名2)

所属1)

所属2)

Ⅰ．緒言

Ⅱ．方法

Ⅲ．結果

Ⅳ．考察

Ⅴ．結論